

栃木県眼科医会理事会だより（平成30年度第1回）

日時：平成30年5月16日（水） 午後7時

場所：宇都宮市医師会館

出席：【会長】吉澤徹 【副会長】石崎道治、釣巻穰 【理事】青瀬雅資、井岡大治、稲葉全郎、上田昌弘、大久保彰、大塚信行、大柳静香、金子禮子、久保田芳美、斎藤信一郎、関本慎一郎、高橋雄二、堤雅弘、細川美奈子 【監事】旭英幸、原裕 【顧問】新井田孝裕 計20名

欠席：【理事】井上裕治、永田万由美、渡辺芽里 【顧問】柏瀬宗弘、川島秀俊、妹尾正、宮下浩 計7名

《会長挨拶》

[吉澤]

今回、新しい体制で行われる初めての理事会です。メンバーも大きく変わりましたが、ここに集まっていた理事の皆様は、全て栃木県の眼科臨床医療を一生の仕事として続ける気持ちを持った方ばかりだと思います。その中で、眼科医会の運営は、誰に任せるでもなく、自らの手によって行わなくてはいけない、そうした志を持ってここにお集まりいただいた全ての方に、深く感謝の意を表します。皆様の気持ちに報いるのに、用意できるのは、わずかな交通費と夕食、それだけです。しかし、これから皆様が理事として誇りを持って仕事ができる環境を用意する、これが会長である私の仕事と考えています。

さあ、前を見て、新しい仕事を始めましょう。

《総務》

[斎藤]

報告：1. 平成30年度栃眼医総会開催報告（4月15日(日) 自治医大）

会員数：A会員65名、B会員85名、C会員16名 M会員6名 合計171名

参加数：当日出席者79名、委任状31名 合計110名 総会は成立した。

平成29年度事業・会計・会計監査それぞれの報告と、平成30年度事業計画・予算・役員が承認された。また、会則施行細則別表の一部変更も承認された。

2. 日眼医より「平成30年度各種補助事業と日眼医からの通知予定の一覧」送付

3. 平成30年度第1回関ブロ(5月19日(土) 新潟グランドホテル)の事前調査

事務局より連絡

連絡協議会出席者

吉澤 徹（県会長・日眼医代議員） 石崎道治（県副会長・日眼医代議員）

原 裕（関ブロ顧問）

健康保険委員会出席者（議題は「保険」に記載）

千葉 桂三（社保審査委員）

勤務医委員会出席者

上田 昌弘（県理事）

男女共同参画委員会出席者

細川美奈子（県理事）

4. 平成29年度物故者調査

松島雄二先生、原博先生、田島幸男先生（事務局より回答）

5. 会員の変更

勤務先変更 B 宮下 博行 (宮下眼科医院)

転出 B 添田 めぐみ (自治医大眼科)

協議：1. 平成30年度第1回日眼医定例臨時時代議員会出席者と提出議題(6月23日(土)、24(日)ザ・キャピトル東急)

吉澤徹代議員、石崎道治代議員

議題は、第1回関ブロ連絡会議で協議予定

- ・質問事項は関ブロの会長会議で決定するが、吉澤会長の提出している内容は、現在の眼科公的検診現状での進捗状況についての説明を要望している。吉澤会長は提出議題として、眼科公的健診制度設立について、現状での進捗状況についての質問を提案する予定である。

2. 栃木県眼科一次救急診療契約書について

昨年度の収支は、赤字となった。現状『会員のボランティア的献身』により成立している一次救急なので、「赤字」まで眼科医会が補填するのは了承できない。独立行政法人国立病院機構栃木医療センター院長の長谷川親太郎氏らと面談し、県からの助成金を獲得すべく県保健課と交渉することとなった。すべての企て終了後、契約の変更や更新を両者の納得の元におこなうこととなった。

3. 来年度総会について

日程は2019年4月14日(日)で検討する。

自治医大 川島監事の提案を協議した。

①一般講演の演題数について1時間で6演題にしてはどうか。

②一般講演→特別公演→総会→懇親会にしてはどうか。

現在の栃木県眼科集談会は眼科専門医の点数が3点(3時間以上)である。時間短縮により点数が2点に減る状況は避けたいので、一般講演は従来通り9時30分から11時30分の開催として、演題の数や、1演題の時間の調整を検討する。特別公演は11時30分から12時30分とし、合計3時間を確保する。

一般講演の直後に特別講演を開催することにより、ご招待した先生の『特別公演』に参加する人数が多くなることは良いことなので検討したい。

「本会入会者の挨拶」は総会の最後にしてはどうか。

4. 理事会だよりメール送信について

理事会だよりを積極的に会員にメール送信することを検討中。

メールでの配信をして良いかどうかの了承を取るために、5月中に全会員に手紙を郵送する。

5. メーリングリストについて

メーリングリストを利用し、理事間の情報共有を円滑にタイムリーに行いたい。

メーリングリストであれば理事会開催日以外でも多数で議論や報告ができるようになる

6. 入会希望者について(転入、開業を含む)

新入会 C 高橋 鉄平 (獨協医大眼科)

- C 森 春樹 (獨協医大眼科)
- C 近藤 由佳 (自治医大眼科)
- C 守屋 穰 (自治医大眼科)
- C 案浦加奈子 (自治医大眼科)

《経 理》

[堤]

報告：1. 栃木県アイバンク協力募金について

総会日(4月15日(日))に栃木県アイバンクが預かり集計。

22医療機関 合計194,259円

2. 第75回栃木県眼科集談会収支報告

収入 254,370 円

支出 459,975 円 205,605 円を栃木県眼科医会から補填

協議：1. 栃眼医からの出張費支給額変更について

前年度決定した通りに全国会議出席に対しては交通費支給を廃止し、関ブロ会議出席のみ関ブロからの支給額との差額のみ支給する旨を確認。

釣巻副会長より、その場合は自己負担額が出ないように設定すべきとの意見がでたが、現在は新幹線、特急等を使用しても個人負担は赤字にはならない設定になっている旨を説明し了承。

以後も旅費につき確認していく方向。

2. 講師報酬への源泉税と消費税について

前年度まで源泉税を計算する場合は、源泉税の10%のみ上乗せで計算していたが、平成25年より復興税として2.1%も源泉税に加え徴収する必要がある事を提示した。

また、消費税も今まで考慮していなかったため上乗せするかどうかも議論。

結論としては、消費税は内税として講演費に含むとの記載をすること、源泉税は復興税を含む10.21%で計算することに決定。

今後の講師報酬を変更することとなった。

3. インターネットバンキング導入について（ご相談）

銀行へのアクセスが多くインターネットバンキングの導入の許可をお願いした。

導入について問題はないが、振込限度額等の確認をするようにとのご意見を頂く。

銀行に確認を取るとともに導入の方向で話を進める予定。

4. 眼科医会会費振込依頼送付について

現在送付準備中。銀行より自動引き落とし設定の書類が届きしたい（今週届く予定）

記入し銀行へ提出、同時に依頼書を送付予定。

会費の自動引き落とし日は6月7日を予定。

5. 一次救急診療保険の更新の件

保険期間 平成30年7月9日～平成31年7月9日

※活動日数（60日以上90日以内で算出）

(保険期間中で、休日及び年末年始が合計 71 日のため)

※総対象人数 165 名

※1日の活動人数 先生2名(2名が最低保険引受けとなる。)

※同条件の保険料 85,200 円

《学 術》

[大久保]

報告：1. 第75回栃木県眼科集談会開催報告(4月15日(日)自治医大)

85名出席

一般講演：9題

特別講演：「緑内障眼に合併する網膜分離様所見と治療」

平形明人 先生(杏林大学医学部眼科主任教授)

2. 県医師会より依頼の「栃木県医学会々誌(Vol.47 2017) 投稿原稿」について

平成29年度活動内容と平成30年度登録分科学会役員名簿は、事務局で作成、投稿。

協議：1. 第58回栃木県眼科医会研究会の開催について(6月22日(金)宇都宮グランドホテル)

特別講演1「加齢黄斑変性長期加療中注意すべき所見」

高橋 秀徳 先生(自治医科大学 眼科学講座 准教授)

特別講演2「高齢化社会における緑内障診療のポイント」

谷戸 正樹 先生(島根大学医学部 眼科学講座 教授)

2. 第41回獨協医大栃眼医合同講演会開催について(7月27日(金)獨協医大)

特別講演1「低侵襲硝子体手術への取り組み」

米田 一仁 先生(京都府立医科大学 眼科学教室 助教)

特別講演2「OCT angiography は眼科臨床を変える? —糖尿病黄斑浮腫診療での有用性—」

野崎 実穂 先生(名古屋市立大学大学院 医学研究科 視覚科学 講師)

3. 第7回栃木県眼科医会獨協眼科病診連携の会開催について

期日：11月9日(金)

演者：日本大学 服部隆幸先生、京都大学 村上智昭先生

4. 第76回栃木県眼科集談会の開催について

日程・演者は調整中。

5. 栃木県医師会から依頼の「第58回栃木県総合医学会に関する事前調査」について

吉澤会長が返事する。

《医療安全対策及び福祉》

[関本]

報告：1. 第88回栃眼医親睦ゴルフコンペ開催報告(4月8日(日) 宮の森カントリー倶楽部)

優勝 高橋佳二

準優勝 関本慎一郎

協議：1. 第89回栃眼医親睦ゴルフコンペ開催について

《保 険》

[井岡]

報告：1. 平成30年度第1回健保研究会開催報告（4月15日(日)自治医大）

会員からの質問1題、その他審査員からの連絡事項を5つ報告した。また診療報酬改正についていくつかの内容を話した。

Q:質問) <D274・2前眼部三次元画像解析:267点>と併せて行った<D275圧迫隅角検査:76点>の同時算定は可能でしょうか？

A:回答) 改定後まだ公の話し合いがないので確約はできないとの前置きの上で『圧迫隅角検査からは前眼部 OCT では見つけられない多くの所見が確認できるため、同時算定は可能ではないかと考えます』と回答。

2. 平成30年度第1回関プロ健康保険委員会(5月19日(土) 新潟グランドホテル)の事前調査について
千葉桂三審査委員(社保)出席

質問：CL処方歴のある再診の患者が、CL処方と眼鏡処方を同時に求められた時どのような請求方法が考えられるか？

質問：(D274・2前眼部三次元画像解析:267点)と併せて行った(D275圧迫隅角検査:76点)の同時算定は可能でしょうか？

質問：近年、入院施設のない医療機関で両眼同日白内障手術、両眼同日硝子体内注射、両眼同日(網膜光凝固+硝子体内注射)等を慣例的に行う医療機関が認められます。「保険者から問題ないのか？」との問い合わせがあり、どのように対処すべきか苦慮しています。各県の実情と対応についてのご意見を伺いたい。

3. 日眼医より連絡の「輪部支持型角膜形状異常眼用コンタクトレンズに係る療養費の支給について」

厚労省からの通知

日眼医のホームページと日本の眼科に掲載される。

上記特殊コンタクトレンズについて厚労省からの通知あり、詳細は日眼医のホームページと日本の眼科に掲載される。

支給対象となる疾病 スティーヴンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症の眼後遺症

協議：1. 平成30年度第1回審査員連絡会の開催について

6月26日(火)に宇都宮医師会館での開催予定。

《広 報》

[大柳]

協議：1. 栃眼医学会報51号について

原稿締切日 5月31日(木)

《学校保健》

[久保田]

報告：1. 芳賀郡の養護教員に対する学校の生徒における近視、色覚問題、斜視についての講演依頼

日時 H31年2月21日(木) 13:50~15:20 (90分)

場所 真岡市公民館 芳賀郡市養護教諭部会研修会にて

講演者 国際医療福祉大学 新井田孝裕 先生

演題（仮題） 学童期にみられる眼疾患

協議：1. 第42回全国眼科学校医連絡協議会の出席者と提出議題について(9月30日(日)、東京グランドホテル)

久保田理事が出席予定。

「学校での部活動などにおける紫外線暴露、日焼けによる眼障害の対策について」を議題として提出予定。

2. 日眼医より依頼の「色覚に関するアンケート調査」について

・提出期限：6月29日(金)

・アンケート内容を会員に周知する。

3. 平成30年度学校現場におけるコンタクトレンズ実態調査について

対象校（小・中・高各1校）を決定のうえ、事前提出用紙で返信する。

・本会会員が眼科学校医として委嘱されている学校

（可能な限り男女共学校で、前回と同じ学校を選出してほしいとのこと）

・提出期限：6月25日(月)

以上を踏まえて、対象校は

宇都宮市立雀宮中央小学校、宇都宮市立雀宮中学校、栃木県立石橋高校に決定した。

《公衆衛生》

[大塚]

報告：1. 平成30年度 眼科一次救急診療予定日を新聞社に連絡

事務局より5社（朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、下野新聞）に連絡

2. 日眼医より送付の「平成30年度目の愛護デースローガンおよびポスター」について

ポスターの必要枚数は130枚と日眼医に連絡

平成30年度のスローガン

「今年もしっかり、目目チェック 目のことなら、お近くの眼科専門医へ」

協議：1. 目の愛護デー記念行事開催について(10月21日(日)宇都宮市健康センター(ララスクエアビル9階))

目の健康講座 演題未定（糖尿病と眼についての予定）6月に決定

鈴木重成先生（獨協医科大学眼科学教室講師）

無料相談員： 齋藤由香先生（小山市 齋藤眼科）

青木由紀先生（栃木市 青木眼科）

日程：14：00～15：00 目の健康講座

15：00～(受付15：30まで) 目の無料相談

15：00～(受付15：30まで) 眼圧無料測定

下野新聞意見広告の依頼について：

本年度は、釣巻副会長にお願いすることになった。

例年、下野新聞に意見広告を掲載している（眼の病気などの文章 原稿用紙4枚ほど）

目の愛護デーの講演演題が決まり次第下野新聞に依頼メールを送付予定。

ポスター：色

2. 平成30年度JRPSとちぎ 医療講演、相談会への講師派遣について（那須塩原市）

県北で開催(場所は未決定) 開催日時は9月30日(日)に決定とのこと。

講師は高橋雄二先生にお願いしていることを確認した。

《医療対策》

[高橋]

報告：1. コンタクトレンズ管理者継続講習会の件

栃木県庁薬事課には講師の依頼およびコンタクトレンズ管理者継続講習会の陳情のため、栃木県医師会にはコンタクトレンズ管理者継続講習会の後援依頼のため、6月4日(月)に吉澤会長と高橋(雄)理事で訪問予定。

《勤務医》

[上田]

報告：1. 平成30年度関ブロ勤務医委員会（5月19日(土) 新潟グランドホテルの事前調査）について

上田理事出席 議題なし

協議：1. 第23回栃木県眼科手術談話会について（5月25日(金)宇都宮市医師会館）

一般演題（4題）

特別講演「結果を出す硝子体手術」

中静 裕之先生（日本大学病院眼科 診療教授(アイセンター長)）

《日眼医連盟》

[吉澤]

栃木県は納入率が高い。本年度も継続して会費の納入をお願いしたい。（会長より）

《その他》

会長からの報告

日本眼科医会 高野繁会長より 7月からの「身体障害者障害程度等級表の 改定」があり 詳しくは5月号の日本の眼科を参考にしてください。

関ブロより 厚生省の局長通達で コンタクトレンズ販売における眼科医の診察を受けた上で処方を受けるべきであるとあった。いまだコンタクトレンズの販売において問題のあるメガネスーパーにおいての眼科検査（調節、輻湊、色覚検査などで1,000円の料金を取っているのは医事法違反ではないか？）が問題になっている。

次回理事会は、7月18日(水)に開催する。

第3回は9月19日(水)、第4回は11月21日(水) 開催を予定している。

(斎藤信一郎 記)

栃木県眼科医会役員 平成 30・31 年度

	顧問	会長	副会長	理事	監事
那 須			釣巻 穰		原 裕
塩 谷				高橋雄二	
上都賀		吉澤 徹		堤 雅弘 細川美奈子	
宇都宮	宮下 浩			稲葉全郎 大久保 彰 金子禮子 久保田芳美	旭 英幸
下都賀			石崎道治	大塚信行	
小 山				大柳静香 斎藤信一郎	
佐 野					
足 利	柏瀬宗弘			井岡大治	
芳 賀				関本慎一郎	
自 治	川島秀俊			井上裕治 渡辺芽里	
獨 協	妹尾 正			永田万由美 青瀬雅資	
国際医療福祉 公的病院	新井田孝裕				
				上田昌弘	

栃木県眼科医会理事職務分担表 平成 30・31 年度

	担当副会長	担当理事(正)	担当理事(副)
総 務	石崎道治	斎藤信一郎	井岡大治
経 理	石崎道治	堤 雅弘	関本慎一郎
学 術	釣巻 穰	大久保彰	久保田芳美、井上裕治、永田万由美、 青瀬雅資、 渡辺芽里
医療安全対策 及び福祉	石崎道治	関本慎一郎	稲葉全郎、井上裕治
保 險	釣巻 穰	井岡大治	大久保彰、金子禮子
広 報	石崎道治	大柳静香	稲葉全郎、高橋雄二、青瀬雅資、渡辺芽里
学校保健	釣巻 穰	久保田芳美	稲葉全郎、大塚信行
公衆衛生	石崎道治	大塚信行	堤 雅弘、細川美奈子
医療対策	釣巻 穰	高橋雄二	大柳静香、斎藤信一郎
勤 務 医	釣巻 穰	上田昌弘	井上裕治、永田万由美、青瀬雅資、渡辺芽里
男女共同参画	石崎道治	細川美奈子	金子禮子、高橋雄二、永田万由美